

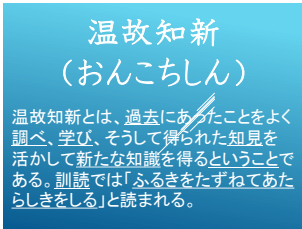
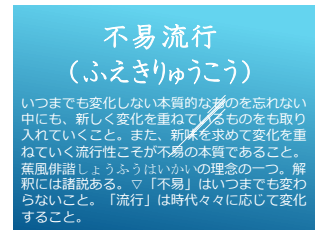
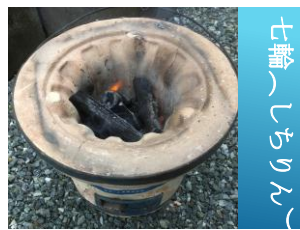


学校だより *Smile* 本荘

2026

令和7年度 第52号
令和8年3月16日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

3月の学校朝会はICTのお話。「不易流行」と「温故知新」の話でした。



この原稿を書いているのは3月4日です(発行が少し遅くなり、申し訳ありません笑)。この日、3月の学校朝会で「ICT」をテーマに話をしました。

現在、本校には3月16日までの期間限定で、ロボットの「ペッパーくん」が来ています。ダンスを披露したり、ALTのサム先生と英語で会話を楽しんだりと大活躍で、子どもたちの人気者です。日々の授業でもタブレット端末を活用しており、情報機器は今や学習に欠かせないものとなっています。

しかし一方で、SNSでのトラブルや情報モラルの欠如、個人情報の拡散といったマイナス面も無視できません。小学校にとっても「対岸の火事」ではなく、私たち教職員もリスクマネジメントに基づき、予防的な指導を継続しています。それでも、学習以外の目的で端末を使

用してしまう事案も残念ながら見受けられます。年度末、活用機会が増える時期だからこそ、改めて子どもたちに使い方を考えてほしいと伝えました。

話の中で、私は一つの「七輪」を紹介しました。私の実家に60年以上前からある、亡き父が大切にしていた古いものです。最新のオープンやレンジも便利ですが、この古びた七輪でお餅やお魚を焼くと、はるかに美味しく焼き上がります。

この七輪とペッパーくんを見せながら、子どもたちには「不易流行(ふえきりゅうこう)」という言葉を贈りました。世の中には、時代に合わせて取り入れるべき「流行(ICT機器)」と、いつまでも変えてはいけない大切な「不易(七輪に象徴される、道具を慈しむ心や本質)」がある、という話です。(裏面に続きます)

あわせて、古いものから学び、新しい知識や創造を得る「温故知新」の大切さも語りました。
3月はまとめの月です。新しい技術を使いこなしつつ、

先人が大切にしてきた心も忘れない。そんな強さを持って次年度へ進めるよう、こどもたちを力いっぱい応援していきたいと思います。(校長)

校長先生の虫眼鏡「最後の学年発表 6年生は素敵でした」

2月18日の児童集会は、今年度最後の学年発表でした。締めくくるのは6年生です。担任の原田先生曰く、「すべて自分たちで自主的にやりました」とのことでした。6年生らしいお手本のような学年発表でした。



まずはオープニングです



なわとびのお手本 ジャンプが高いねー



発表が楽しいので、みんなの手が挙がるのです(^_^)